



てき丸君News 第79号

発行：公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

連合会より

●収集運搬部会●

令和3年度第2回収集運搬部会（web会議）を11月5日に開催しました。

主な議題は「収集運搬事業の経営上の課題のうち優先順位が高いものについての検討方針」でした。

前回の運営委員会での議論を踏まえて、部会長が優先順位の高いと思われる7つのテーマを提案し、各テーマについて意見交換し、今後の検討方針を確認しました。（調査部・東）

●最終処分部会●

最終処分部会運営委員会（web会議）を11月8日（第2回）と11月17日（第3回）にそれぞれ開催しました。

第2回運営委員会の主な議題は、「①最終処分場に係る税制上の特例措置の延長要望」、「②最終処分委託契約書様式及び維持管理マニュアルの利用状況及び普及活動の活動報告」でした。

①は、令和4年3月末に期限を迎える「維持管理積立金の損金算入等に係る特例措置」の延長に向け、環境省と財務省の協議状況や連合会の要望活動について意見交換しました。また、令和6年3月末に期限を迎える「軽油引取税の免税措置」は、地域内で周知し、次回の延長要望に向けて利用実績の向上に努めることを確認しました。

②は、最終処分委託契約書様式及び維持管理マニュアルについて、委員企業や地域における利用状況及び課題を各委員が報告し、意見交換しました。

第3回運営委員会の主な議題は、「維持管理積立金の損金算入について」でした。本特例措置の要望実現に向けて協議が大詰めを迎えることから、要望交渉に臨むスタンスを確認しました。（調査部・東）

●最終処分場維持管理技術研修会（オンライン）を開催●

最終処分場維持管理技術研修会を11月10日～11日の2日間開催しました。同研修会はこれまで、福岡市の処分場において開催していましたが、今年度は初めてオンライン形式で開催しました。

研修会には処分業者や行政関係者など全国から136名が受講しました。研修会では環境省に続き、雨水対策をテーマとして4名の講師がそれぞれ講義しました。

研修会後のアンケートでは、

- ・事例やデータ等を交えた具体的な講義がされて、理解しやすかった。
- ・処分場の維持管理の手法を学ぶことができ、勉強になった。
- ・事前に寄せられた質問への講師の回答が丁寧で分かりやすかった。

など、大変好評の感想が寄せられました。

また、オンライン開催のため、場所や移動に制約がなく、参加しやすかったとの声も多くいただきました。

（調査部・東）

日程	内容	講師
11月10日 (水)	開会挨拶	最終処分部会長 杉田昭義
	最終処分場を取り巻く課題と方向性	環境省 廃棄物規制課 田中敏明氏
	やさしい安定化の科学	国立環境研究所 山田正人氏
	準好気性埋立構造の特徴と適正管理の実施例 —福岡市における最終処分場技術開発の経緯とその成果—	福岡市 環境局施設課 木元輝彦氏
11月11日 (木)	豪雨時における浸出水の流出と 汚濁物の洗い出し特性およびその対策	福岡大学 柳瀬龍二氏
	豪雨時における最終処分場の 適正管理のためのモニタリング	福岡大学 田中綾子氏
	質問に対しての回答	柳瀬氏・田中氏
	閉会挨拶	最終処分部会長 杉田昭義

公益社団法人群馬県環境資源創生協会が城田名誉会長の顕彰式を開催

公益社団法人群馬県環境資源創生協会（倉沢登志夫会長）は11月10日、6月に名誉会長に就任した城田裕司氏の「城田名誉会長顕彰の会」を開催しました。

会場となりました前橋問屋センター会館には城田名誉会長と親交のある国会議員、群馬県議会議員、群馬県環境森林部、連合会の森谷専務理事などの来賓や群馬県協会本部理事など関係者を含め60人余が集まり城田氏を讃えました。

来賓あいさつには、特別国会召集初日のため代理出席となった小淵優子氏、笹川博義氏、福田達夫氏の3人の衆議院議員をはじめ、群馬県環境森林部の岩瀬春男部長、群馬県議会議員の中沢丈一氏、久保田順一郎氏、さらに連合会の森谷賢専務理事が登壇しました。城田氏の人柄や、環境保全・資源循環にかける情熱、また協会組織の立ち上げから今日に至るまでの功績をそれぞれ讃え、お祝いに言葉を贈っていただきました。

城田名誉会長はあいさつで、大勢の出席者に感謝の意を伝えるとともに感謝状贈呈へ御礼の言葉を述べられました。さらに「今後も私の育てた群馬県協会組織の拡大拡充に向けて、陰ながら真剣に取り組んでいく考えですので、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を切にお願いいたします」と協会の発展に向けての思いを語りました。（群馬県環境資源創生協会）



倉沢登志夫会長（写真左）が城田裕司名誉会長に長年の功績を讃え感謝状を贈呈した。

連合会より

●産廃処理業景況動向調査結果について（2021.7-9月期）●

2021.7-9月期の景況判断DIは、▲7となり、前期（2021.4-6月期：▲18）から11ポイント改善しました。今後についての見通しは▲13となり、6ポイント悪化する見込みとなっています。景況感は新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復しました。

調査結果の詳細につきましては、下記サイトをご覧ください。

（事業部・本多）

<https://www.zensanpairen.or.jp/activities/report/>

●INDUST 12月号特集「産廃処理業界の人材定着に向けて」●

AIによる自動化などにより、産業廃棄物処理業、資源循環業は今後省力化が図られていくことが予想されています。

しかし、対面による顔の見える営業が必要な状況は今後も続き、現場においても人がかかわらなければならない業務があるのは事実です。優秀な人材を確保し、定着させ、ベテランとなった人が経験や技術を継承していく、このサイクルがやはり業務を滞りなく推進していくには重要になってきます。

12月号では新卒、中途採用の人材確保に向けた各業者の取組みを紹介するなど、人材の育成に焦点を当てます。（事業部・東方）



令和3年度(後期) 産業廃棄物処理実務者研修会 ～オンライン学習～

後援：
環境省

＜研修会の目的＞

産業廃棄物を取り扱う方々(排出事業者を含む)の実務に必要な幅広い知識の習得と再確認

今年はオンラインで個人学習!
職場で自宅で、好きな時間に自分のペースで!

※ 産業廃棄物処理実務者研修会テキストも別途販売しています

申込受付開始!

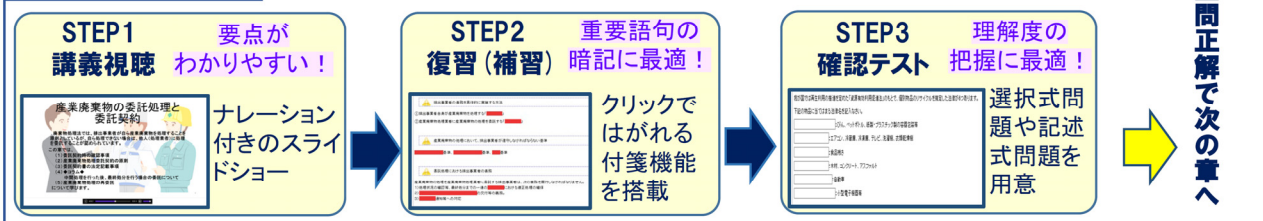
	第4期	第5期	第6期
申込受付期間	10月1日 ～10月25日	11月1日 ～11月24日	12月1日 ～12月21日
受講期間	11月2日 ～11月29日	12月2日 ～12月24日	1月5日 ～1月28日

カリキュラム (全4講座)

- ① 産業廃棄物処理の基礎(第1章～第8章)
(廃棄物処理法、排出事業者の責務、保管基準や処理基準 など)
- ② 産業廃棄物の委託処理と委託契約
- ③ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)
- ④ 帳簿

各章の構成

個人学習に最適な「復習(補習)」や「確認テスト」がメインの研修会です!
(各章ごとに、STEP1～STEP3で構成)



受講料

1名につき **8,250円** (税込、
通信費等は利用者負担)

詳細/ 申込方法

お申込みは、専用のポータルサイトより受付

産廃 実務者研修

検索

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>



お問合せ



公益社団法人

全国産業資源循環連合会

事業部 実務者研修会担当

E-mail: ability-as@zensanpairen.or.jp

● 営業時間 / 月～金 9:00～17:00

● 定休日 / 土日・祝日

2021.08

スキルアップを考えている方に必須の試験です！

(公社) 全国産業資源循環連合会

後援：
環境省

産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)



こんな人のニーズにおすすめです

- 人事・管理部門
現場の担当者が業務に必要な知識を身に付けているか、定量的に把握したい方。従業員の人材育成にご活用ください。
- 廃棄物処理担当
廃棄物を処理する上で、実務に必要な正しい知識が身についているかを確認したい方。

この検定に合格すると・・・

- 合格証明書カードが交付されます。
- きちんとした知識を備えた人材であることの証明になります。
- お客様やクライアントからの要望に対して、より効果的で適確な提案をすることができます。

【試験日時】 令和4年2月13日(日)10時～11時30分

受験料：12,100円(税込)

【受付期間】 令和3年12月1日～令和4年1月13日 (ただし各会場定員になり次第、受付を締め切ります)

【申込方法】 専用ポータルサイトにて申込受付 詳細は連合会ホームページにてご案内いたします

【試験形態】 マークシート方式による筆記試験

【試験範囲】 廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿、保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>

全産連 検定

検索

【試験会場(予定)】全国13場で同時開催

最寄りの会場をご利用ください

開催場所(定員)

会場名

岩手県(50名)

アイーナ
いわて県民情報交流センター

栃木県(50名)

栃木県教育会館

東京都(90名)

TKP市ヶ谷
カンファレンスセンター

神奈川県(90名)

かながわ労働プラザ

新潟県(80名)

新潟県建設会館

石川県(30名)

石川県地場産業
振興センター

長野県(60名)

ホテル信濃路

愛知県(80名)

名古屋国際会議場

滋賀県(70名)

ピアザ淡海

大阪府(80名)

大阪私学会館

広島県(90名)

広島市文化交流会館

福岡県(50名)

福岡県中小企業
振興センター

熊本県(60名)

メルパルク熊本

共催：

一般社団法人岩手県産業資源循環協会

一般社団法人新潟県産業資源循環協会

一般社団法人愛知県産業資源循環協会

一般社団法人広島県資源循環協会

公益社団法人栃木県産業資源循環協会

一般社団法人石川県産業資源循環協会

一般社団法人滋賀県産業資源循環協会

公益社団法人福岡県産業資源循環協会

公益社団法人神奈川県産業資源循環協会

一般社団法人長野県資源循環保全協会

公益社団法人大阪府産業資源循環協会

一般社団法人熊本県産業資源循環協会

【お問合せ先】



公益社団法人

全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17 第2ABビル4階

検定試験担当

TEL: 03-3224-0811 FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

●営業時間／月～金 9:00～17:00

●定休日／土日・祝日

2021.12